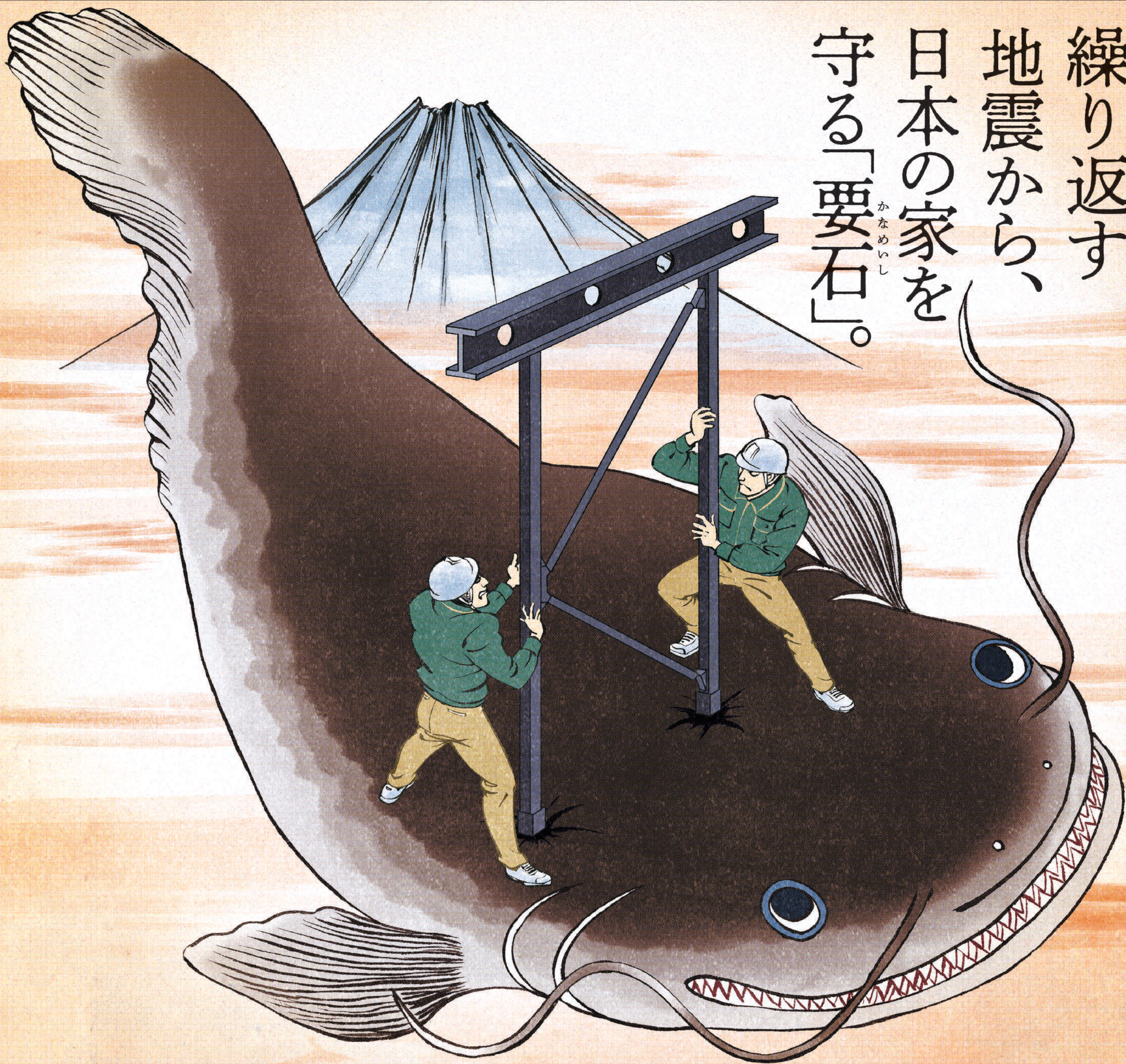


繰り返す 地震から、 日本の家を 守る「要石」。

かなめいし



地中の大なまずを鎮め、
江戸の人々の心も支えた神秘の石。
地震大国・日本。歴史的に多くの地震に見舞われてきたこの国では、かつて、地中にすむ大なまずが地震を起こすと信じられていました。江戸時代に発生した安政の大地震直後には、その大なまずを「要石」で押さえつけて地震を封じる、という民俗信仰をモチーフにしたなまず絵が流行。そのユーモラスな表現が、江戸の人々の地震への不安をやわらげたと言われています。

住まいの见えない場所で、

今のくらしに安心を届ける制震構造。

そして現代もまた、大きな地震への不安が高まっている時代。住まいづくりに携わる企業として、私たちも見えない場所に安心を宿したい。そんな思いから、パナソニックホームズ独自の座屈拘束技術は生まれました。耐震性能を追求する中で本来は超高層ビルに採用される制震構造を、常識を覆す発想で住宅の構造に転用。「引張」に強い芯材(低降伏点鋼)を「圧縮」でも曲がらないよう拘束材と組み合わせた複合型斜材を開発し、この見えない技術で、

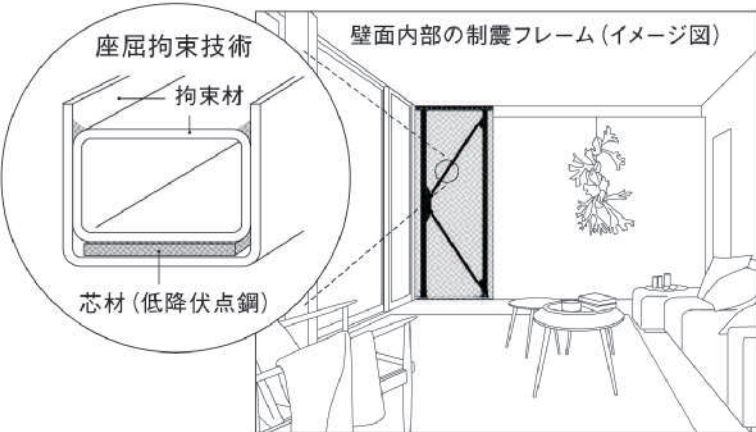
繰り返す地震の揺れから歪みを防ぐ強い家を実現しました。事実、これまでの大地震でも倒壊ゼロの実績を誇っています。

歴史的に多くの大地震に見舞われてきたこの国だからこそ、地

震への対策方法は進化してきました。いつか今以上に地震への不安が小さな時代になるように。

パナソニックホームズの挑戦はこれからも続きます。

※最大震度7(カマクテッド7.0以上)を記録した阪神・淡路大震災と東日本大震災、熊本地震、令和6年能登半島地震で被災した当社住宅において、地震の揺れにより倒壊した住宅は0棟(当社調べ)。



パナソニックホームズの座屈拘束技術

特許6068578

Panasonic Homes

未来をまづくるPLT Group

パナソニックホームズ株式会社



「地震に強い家」の秘密はこちら